



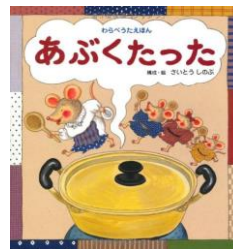
新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

1 お知らせ

- * 7月に入り、連日猛暑が続いております。
トレーニング中、適宜水分の補給を行いますので、水筒やペットボトルで水分をご持参ください。
また、必要に応じてお子様はマスクを外してトレーニングを実施することもございます。
マスクの使用方法について、個別に対応させていただくことも出来ますので、ご相談ください。
 - * 7月25日より、ハッピーテラスご利用者様アンケートを実施予定です。
改めて、SMS（ショートメッセージ）にて配信させていただく予定です。
ご回答のほど、何卒宜しくお願い致します。
 - * 8月13日（土）～15日（月）は、夏季休業とさせていただきます。
当日のご利用予定の、ご家庭の皆様には別途振替の日程のご提案をさせていただきます。
何卒、ご容赦くださいませ。
- ご不明な点につきましては、教室スタッフまでお声がけください。

2 職員からの推薦図書

題名 「あぶくたった」
著者名 さいとうしのぶ
参考価格 1,100円(Amazon)
推薦者 笹原 大暉（芝浦教室）



歌いながら楽しむ、親子でごっこ遊びもできる絵本です。数多くのたべもの絵本を手掛けるさいとうさんが描く料理は、ホカホカと湯気が立っていて、お腹が減ってきてしまいます。ねずみ一家のユーモラスな料理シーンに合わせ、いっしょに歌って、遊んでみてください。

3 7月の追加ご利用可能日程

各教室において、追加でご利用される場合にご参考ください。

(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
10:00				△	△		△				△	△		△	
11:15	○			○	○		○				○	○		○	
13:00	△			○	○	△	○	△			○	○	△	△	
15:00				○		△	△				○		△	△	
16:15				△	△	△	△				△		△	△	

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
10:00										△	○					
11:15						○	○			○			○	○		
13:00				○	△	○	△			○	○	△	○	△		
15:00					△	△				○		△	△		○	
16:15					△	△	△			△	△	△	△	△		

集団コースの空き状況（通期での参加をお願いしております）

- 月曜15:00 ソーシャルスキルコース 空いております
- 水曜13:00 幼稚園準備コース 空いております
- 金曜15:00 小学校準備コース 若干名空いております
- 土曜10:00 ソーシャルスキルコース 若干名空いております

4 おうちでキッズコーディネーション！

～スプーンでおまめリレー～難易度★★☆☆☆

- ねらい
- ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ
 - ・体をタイミングよくスムーズに動かす
 - ・手先や足先、道具を使いこなす

- 準備物
- ・スプーン4本（1人2本）
 - ・豆粒状（球形）のもの

- 進め方
- ① 保護者と子どもが向かい合って座り、両手にスプーンを持ちます。
 - ② 豆を保護者の右手のスプーンに乗せ、自分の左手のスプーンに移します。移したら子どもの右手のスプーンに移します。もらった子どもは、自分の左手に移し、保護者の右手に移し…を繰り返していきます。

★ 複数人で行う場合は、同じような手順で、時計回りに移していきます。
慣れてきたら反対回りもやってみましょう。人数が多くなると、より盛り上がります。

動画のQRコードはこちら！

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようお願いいたします。



5 療育コラム 「行動分析学の行動の考え方について②」

今回は、前回に引き続き行動分析学の介入する際の考え方についてご紹介していきます。

ある行動の変容を目指す際は、行動そのものを細分化し、スモールステップに仕分けをして、それぞれの段階に介入をしていく必要があります。

何故、行動を細分化し、スモールステップに分ける必要があるのかを、『宿題をする』という行動を例として考えていこうと思います。

『宿題をする』という行動は、一般的に、それだけで1つの行動じゃないか、という意見が挙がってくるように思われますが、厳密には幾つかの小さな行動の積み重ねで成り立っている、いわば小さな行動の集合体とでもいうべき行動となります。

具体的に、『宿題をする』という行動をするためには…

- ① 宿題やるか、という気持ちを作る
- ② 宿題の内容や範囲を確認する（または予め記憶しておく）
- ③ 椅子に座って学習机に向かう
- ④ 宿題に必要となる教科書やプリント、筆記用具等を取り出す
- ⑤ 宿題のページを開く
- ⑥ 筆記用具を手を持つ
- ⑦ 宿題の問題を解く

のように、少し考えただけでも7つものスモールステップに分ける事ができます。

こうして細分化してみると、「いくら何でもこんなに細かく分けなくても…」と思われる方もいらっしゃるかと思います。

恐らくですが、そのように感じられる方は、『宿題をする』という行動に向き合い続けた結果、これら7つのプロセスが自動化され、1つのプロセスになっている状態にあるのではないかと思います。

しかしながら、『宿題をする』という行動が、現状できない人達にとっては、7つもの難関を乗り越えてようやく宿題をする、という行動になるという理解が、行動分析学では重要となってきます。

例えば、同じ『宿題をする』という行動が難しい児童が2名いたとして、1名は、ステップ②の段階からできていない児童、もう1名はステップ⑤まではできるが、今一歩取り組めていない児童だったとすると、介入の仕方は必然変わってきます。

具体的に介入方法の例を挙げますと、前者に対しては、宿題の内容をそれとなく確認する機会を設けたり、連絡帳と一緒に確認する、などの介入、後者に対しては、いざ取り組むぞ、と言う段階で、「今日、どんなのやるの？」と声を掛け、軌道に乗るまで見守る、などの介入を私ならしてみようかな、と思います。

このように、1つの行動をスモールステップに分ける事で、どの段階まではできているか、どの段階にどう介入するかを考えていく事を『課題分析』と言います。

課題分析を正確に行う事で、同じ行動ができていない状態であっても、行動のどの段階に弊害があるのかを知り、適切な介入に繋げていく事ができるのです。

いかがでしたでしょうか？今回のお話のように、何かできていない行動があった際、何故それができていないのかを細分化して考えていく事は、他者のみならず自分について振り返る際にも非常に重要な視点のため、機会がありましたら自分や他者の何らかの行動を例に考えてみるのも良いかもしれません。

次回も引き続き、行動分析学の考え方について、お話していきたいと思います。